

第3期 天王寺区地域福祉アクションプラン

愛称 愛あいプラン

基本理念

『住民みんなで作る
新しい時代のやさしくあたたかい
品格あるまちづくり』

基本目標

- ① おたがいを理解しあい、大切にしあうまち
- ② みんなで支えあい、必要なサービスが十分受けられるまち
- ③ 子どもをはじめみんなが生涯地域に愛着と誇りを持ち、夢を持って暮らしていける福祉のまち

推進取り組み

- 1) 参加・交流・気づき「地域の輪づくり」
- 2) 情報の共有化「ホームページや広報紙の活用促進」
- 3) 団塊・シニア・子育て世代を地域につなぐ「団塊・シニア・子育て世代へのアプローチ」
- 4) 共に助けあうまちづくり「要援護者へのネットワークづくり」
- 5) 人づくり・仲間づくり・福祉の風土づくり

第3期(平成24年度～26年度)も、地域の方々、区役所、区社協が協働し、推進していきます。

- 高齢班** 安心安全カードの普及啓発を地道に行いながら、高齢者の抱えている問題について取り組みを行います。
- 障がい班** 作成したちらしの配付、ポッチャ大会の開催支援、障がいの理解を深める勉強会の実施を引き続き行い、障がいへの理解促進を行います。
- 子育て班** 不登校がちな小・中学生の居場所づくり等の検討を引き続き行います。

第2期(平成21年度～23年度)の振り返り

- 高齢班** 平成23年度に作成した安心安全カードの普及啓発について話し合いを重ね、普及啓発に励みました。平成23年度には「愛あいふれあいまつり」で普及啓発の寸劇を行いました。
- 障がい班** 当事者アンケートの課題整理を行い、それを基に相談窓口がわかるシンプルな広報のちらし・地域の憩いの場である〈ふれあい喫茶〉の案内ちらしの作成、障がいの理解を深めるための勉強会の実施や障がいのある方との交流を通して障がいの理解を深めるポッチャ大会の開催支援をしました。
- 子育て班** 不登校や夜間の外出等があるという報告を受け、小・中学生の居場所について検討を重ねた結果、子ども・子育てプラザにおいて、夏休みに子どもが集うためのプログラムを組み、「こどもステーション」として事業実施しました。また、小・中・高校生が集うジュニアクラブの活動支援を積極的に行いました。



平成23年度の主な取り組み

■ 第6回 子育て愛あいフェスティバル
参加者数1,084名
【目的】児童虐待防止、子育て支援の推進
今年度は8/22(水)開催!
(天王寺スポーツセンター)
9:30～12:00



■ 第6回 愛あいふれあいまつり 参加者数836名
今年度は10/27(土)開催予定!



【目的】福祉の情報発信、高齢者や障がいのある方への理解促進、多世代交流
東北の被災地支援
(東北物産市の売上) 124,100円
(義援金) 5,598円



安心安全カードの普及啓発



■ ポッチャ大会の開催支援
【目的】障がいのある方と地域住民が交流し、障がいへの理解を深める



今年5月26日に味原ポッチャ大会が開催されました!



真田山地域 (総数127名)

区民ポッチャ大会 (総数36チーム、108名)



大江地域(総数約100名)

■ 地域で障がいの理解を深めるための勉強会の実施や障がいのある方に配慮したちらしの作成など



知的障がいについての勉強会



精神障がいについての勉強会

■ ジュニアクラブ関係事業への支援・協力



津波・高潮ステーション 災害体験 留学生との交流会参加

■ 〈団塊・シニア世代対象〉ふれあい塾の開催支援

